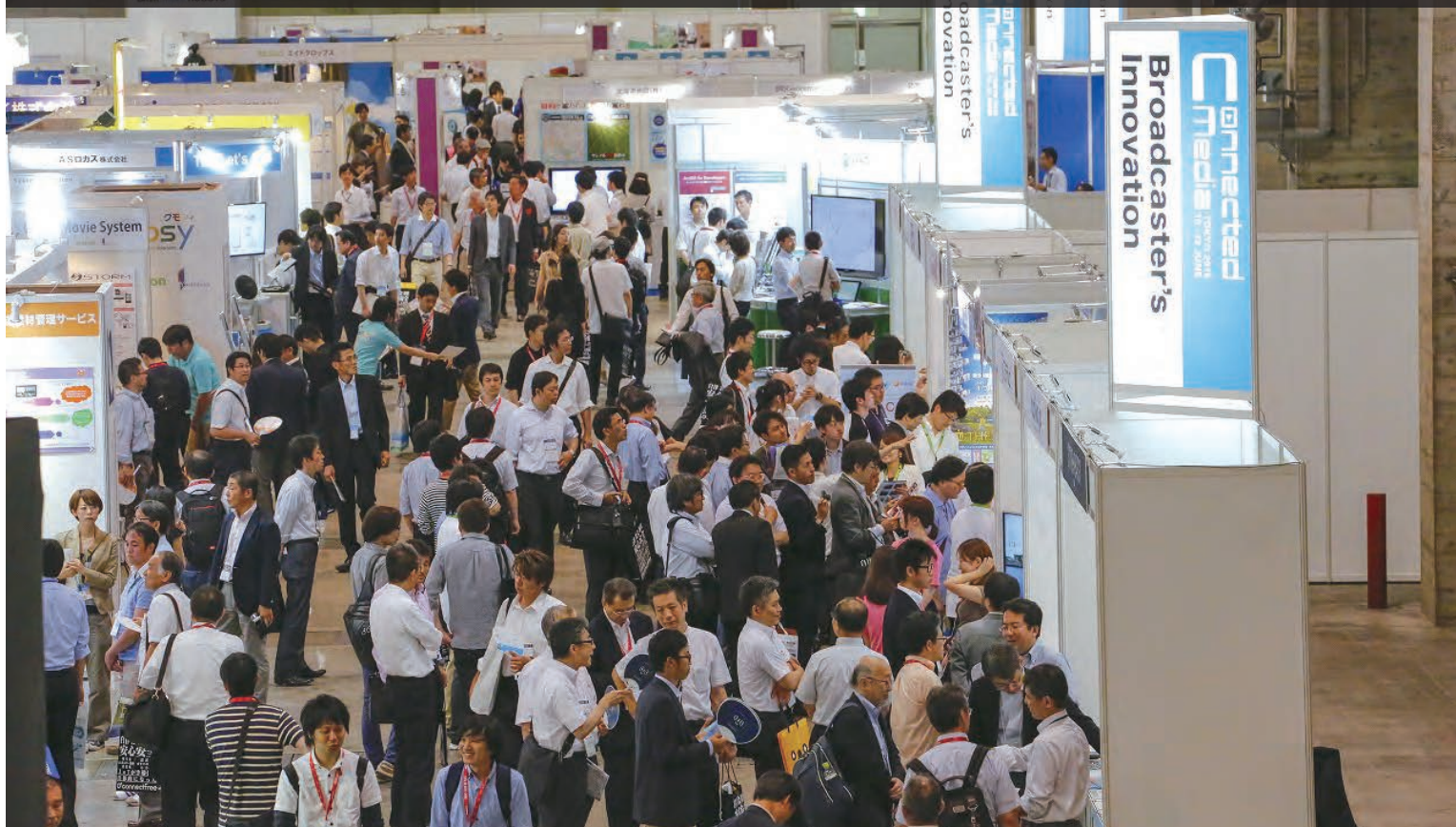


「Connected Media Tokyo 2016」直前特集



放送・ネット連携の 「最先端」が ここにある！

「Connected Media Tokyo (CMT)」と国内最大級のICT展示会「Interop Tokyo」など同時開催イベントは、放送業界とネット業界との出会いの場にもなっている。写真は来場者で賑わう昨年のCMT 2015と同時開催イベントの会場。



「放送・ネット連携」をテーマにした展示会としては我が国最大級の「Connected Media Tokyo 2016 (CMT 2016)」(旧IMCから昨年名称変更)が6月8日(水)～10日(金)に幕張メッセで、国内最大級のICT展示会「Interop Tokyo 2016」と同時開催される。今年もNHK・民放キー局がブースを並べる「Broadcaster's Innovation」コーナーでは、各放送局が放送・ネット連携の最新技術・サービスを競い合って展示する。動画配信サービスやモバイル、クラウド、ビッグデータなどが今年の展示のトレンドだ。基調講演とCMTセミナーは「TVer」「Abema TV」「Hulu」など注目の動画配信サービスや5Gなどの技術に関する充実したラインナップ。展示会もセミナーも放送業界だけでなく、通信、ネット、ケーブルテレビなどメディア業界関係者にとって必見の内容になっている。Interopなど同時開催の展示会では、4K/8K、モバイルアプリ、AI、位置情報などの技術・サービスを紹介する。

本特集では、CMT 2016の全体の見所を運営会社である(株)ナノオプトメディア 取締役・最高執行責任者・大嶋康彰氏に聞いた。そしてBroadcaster's Innovationコーナーに出展するNHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、フジテレビを取材し、各局が自信を持って出展する技術・サービスを紹介する。

●取材：渡辺 元・本誌編集長 ●文：高瀬徹朗・放送アナリスト